

(別紙様式)

業務改善の実施状況報告

組織名	大臣官房統計部統計企画課	連絡先	03 - 3502 - 5651
所管する業務の概要	統計部が実施する統計調査の企画・調整、統計部及び省内他局庁が実施する統計調査についての総務省との調整、統計調査結果や分析結果の国民への提供、統計調査業務の民間委託、A S E A N諸国に対する農林水産統計の技術協力等。		

1. 職員の基本的な心構え・行動について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
○【平成21年9月時点】 ・本省に直接又は地方出先機関を通じて寄せられた国民からの意見、要請、苦情等については、「報・連・相」の徹底を行い、関係部署に迅速に連絡するなど、的確な対応に努めている。 【現在の対応状況】 ・本省統計部内には関係資料を配布するとともに、地方組織には、地方農政局担当者会議等の場を活用して、全ての職員が問題意識を共有するように努めた（例えば、地方自治体等から寄せられる統計調査に対する要望等）。	【継続】 ・今後も、本省に直接又は地方出先機関を通じて寄せられた国民からの意見、要請、苦情等については、「報・連・相」の徹底を行い、関係部署に迅速に連絡するなど、的確な対応に努める。

○【平成 21 年 9 月時点】

- ・「接遇」については、本年度実施した接遇研修の内容（電話対応、対面対応等）を踏まえ、一層の意識・行動の向上に努めている。

【現在の対応状況】

- ・電話対応、対面対応等の向上を目的に、人事異動により新たに当課に転入等してきた 10 人に対して「接遇マニュアル」を配布し、説明を行った。

○【平成 21 年 9 月時点】

- ・「ビジョン・ステートメント」については、課の入り口に掲示、及びパソコンの壁紙に利用するなどして常に意識の向上に努めている。

【現在の対応状況】

省内全ての職員に配布された名刺サイズの「ビジョン・ステートメント、7つの問いかけ」を各職員が常時確認できるように取組を継続している（①職員身分証明書のケース（ネックストラップ）に入れる。②パソコン等に貼り付ける等）。

【継続】

- ・引き続き、接遇リーダーを中心として、定期的な接遇改善に向けた取り組みを実施するとともに、職員が他の職員が不適切な接遇を見かけた場合には、その都度アドバイスを行うようにする。

【継続】

- ・これまで実施している対応を継続するとともに、さらに課内会議において月 1 回ビジョンステートメント及び行動規範の読み合わせを行う。

2. 国民視点に立った業務の遂行について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
○【平成 21 年 9 月時点】 ・統計調査については、省内関係部局（農林水産統計連絡会議を設置）と十分協議し実施している。 【現在の対応状況】 ・平成 22 年 2 月 1 日から統計部ホームページに新たなコンテンツ「統計情報へのご要望」を設け、意見・要望の把握を開始。 ・意見・要望の有無については週 1 回程度確認。 ・意見・要望については担当部署（者）へ適宜連絡。 ○【平成 21 年 9 月時点】 ・農林水産統計調査の実施に当たり、調査に協力していただく方の負担軽減を図る観点から、調査票を記入しやすいものにするよう努めている。また、統計調査結果についても、ホームページを活用しながら、分かりやすく利用しやすい形での公表に努めている。 【現在の対応状況】 ・当課において、統計調査の総務省申請への事前審査を行う際、調査票の構成、設問の表現等が調査対象者にとって記入しやすいものになっているか、過去の事例等を踏まえ、共通的な視点で、その都度確認を行っている。 【現在の対応状況】 ・平成 22 年 2 月 1 日から統計部ホームページに新たなコンテンツ「統計情報へのご要望」を設け、意見・要望の把握を開始。 ・意見・要望の有無については週 1 回程度確認。 ・意見・要望については担当部署（者）へ適宜連絡。	【継続】 ・統計部ホームページに開設した「統計情報へのご要望」（コンテンツ）を活用し、引き続き、統計利用者からの意見・要望の把握に努める。 【継続】 ・引き続き、過去の事例等を踏まえ、共通的な視点で、その都度確認を行う。 【継続】 ・統計部ホームページに開設した「統計情報へのご要望」（コンテンツ）を活用し、引き続き、統計利用者からの意見・要望の把握に努める。

3. 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて

・これまでの取組実績及び現在実施している取組

○【平成 21 年 9 月時点】

- ・統計調査結果について、数値の誤りが発生しないよう、部内の調査担当課と連携し、チェックシートを用いる等のガイドラインを作成して対応している。また、総合報告書の発刊に際しては、数値に誤りがないよう、チェックシートを用いつつ、複数の者での確認を実施している。

【現在の対応状況】

- ・公表値の訂正案件については、調査担当課と当課において発生要因を分析し、再発防止に向けたノウハウの共有化に努めているとともに、地方組織に対しては、地方農政局統計企画課長会議（平成 22 年 4 月）を通じて、調査の一層的確な実施に努めるよう周知。
- ・「農林水産統計月報」、「農林水産省統計表」及び「ポケット農林水産統計」のチェックシートについては、統計表ごとに細かなチェック表を作成し、チェック体制を明確化。

○【平成 21 年 9 月時点】

- ・業務に関するリスクを常に意識して業務に取り組むよう、課内会議等を活用した周知徹底に努めている。

【現在の対応状況】

- ・「ヒヤリハット事例」については、各職員が随時確認できる仕組みが HP 等に構築されたことから、これを活用している。

・今後の課題とその改善策

【継続】

- ・数値の誤りが発生しないよう、引き続き、訂正事案に応じたチェックシートの見直しを進めていく。

【継続】

- ・引き続き「ヒヤリハット事例」等について当課に関連する事案がある場合は、課内会議等を活用し、周知徹底を図る。

【現在の対応状況】

- ・当課において、各業務におけるリスクの洗い出しを行いこれらのリスクにおける対応策（「各業務におけるリスク管理」（平成 21 年 12 月））を作成した。
なお、現在、この「各業務におけるリスク管理」の更新作業を実施。
- ・宮崎県の口蹄疫発生に伴う当面の各統計調査の業務運営について事務連絡（5 月 19 日）を発出。
また、統計組織における対応について、統計ユーザーでもある省内他部局に事前に連絡。

【継続】

- ・今後も定期的に「各業務におけるリスク管理」を更新し、各職員に周知徹底を図る。

4. その他の農林水産省改革を進めるための取組について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
○【平成 21 年 9 月時点】 - 統計調査の円滑な実施をするため、各調査の報告時に地方出先機関から調査改善要望を吸い上げており、この改善要望等については、調査担当課と情報共有を図っている。また、その一環として調査員調査の円滑な実施に資するため、登録統計調査員に対して調査関連事項等を掲載したリーフレットを定期的に発刊するなど、関連情報の推進に努めている。 【現在の対応状況】 - 当課において、統計調査の総務省申請への事前審査を行う際、調査票の構成、設問の表現等が調査対象者にとって記入しやすいものになっているか、過去の事例等を踏まえ、共通的な視点で、その都度確認を行っている。 ○【平成 21 年 9 月時点】 - 統計調査結果の適切かつ円滑な公表を行うため、部内に「広報プロジェクトチーム」を設け、共通事項について検討を行っている。 【現在の対応状況】 - 平成 21 年 9 月以降、広報プロジェクトチームを 5 回開催し、公表にあたって改善すべき点等の検討を行い、以下の事項の見直しを実施した。 - 第 1 報の説明工程 - 公表マニュアル - 統計企画課派遣職員による HP アップ (HTML) - ワークへの掲載時間 - 記者レク (会見)、プレスリリース - 第 1 報及び年報スタイル 等 - 平成 22 年 1 月に「統計表に用いる記号について」を再整理。	【継続】 - 引き続き、過去の事例等を踏まえ、共通的な視点で、その都度確認を行う。 【課題】 - 今後も統計調査結果の公表にあたっての共通的な留意事項等について、状況に応じて見直しを行っていく必要がある。 【改善策】 - 広報プロジェクトチーム、課内会議等を活用して該当事項について検討するとともに、順次具体化を進めていく。 「統計資料作成の手引き」の見直し・検討を進める。

- ・パソコン、インターネットの普及に伴う統計データの利活用に対応等すべく「統計資料作成の手引」の見直し・検討を行っている。

○【平成 21 年 9 月時点】

- ・省内の統計調査結果全般の問い合わせ先となっており、寄せられた問い合わせについては、内容を丁寧に聞き取るとともに、農林水産省ホームページのデータベースを活用し、分かりやすく回答するように努めている。
また、省内他部局に関する内容についても、安易な電話転送を行わないよう、担当部署に照会内容の確認等を行った後、照会者に取り次ぐようにしている。

【現在の対応状況】

- ・平成 22 年 3 月の課内会議において「照会対応の心得」を配布し、各職員に周知。

【課題】

- ・「照会対応の心得」については、形骸化しないよう改善を行っていく必要がある。

【改善策】

- ・「照会対応の心得」について、各職員の対応状況等を踏まえて、必要に応じて改善を行う。